

会 議 録

会議の名称	令和 6 年度小牧市企業新展開支援プログラム推進協議会					
開催日時	令和 6 年 7 月 30 日(火)午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分					
開催場所	小牧市役所本庁舎 6 階 601 会議室					
出席者及び欠席者	<p>【委員】</p> <p>○出席者</p> <p>清水 真 (中部大学 経営情報学部 教授)</p> <p>野田拓哉 ((株)野田スクリーン 代表取締役)</p> <p>坪井和巳 (小牧商工会議所 専務理事)</p> <p>石川 徹 (地域活性化営業部長)</p> <p>○欠席者</p> <p>なし</p> <p>【オブザーバー】</p> <p>金田 堅 (こまき新産業振興センター センター長)</p> <p>【事務局】</p> <p>伊藤加代子 (地域活性化営業部次長)</p> <p>久田雅樹 (商工振興課長)</p> <p>前田盛人 (企業立地・次世代産業推進課長)</p> <p>五十君有美子 (商工振興課 商工労政係長)</p> <p>矢葺栄次 (商工振興課 新産業創出係長)</p> <p>岩下貴洋 (商工振興課 新産業創出係長)</p> <p>早瀬大介 (企業立地・次世代産業推進課 企業立地・次世代産業係長)</p> <p>多田 匠 (商工振興課 新産業創出係主事補)</p>					
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 否	傍聴定員	3 名	傍聴人数	0 名
会議次第	<p>1 小牧市企業新展開支援プログラムの進捗状況について</p> <p>2 その他</p>					
会議内容	別紙 1 参照					

<開会>

あいさつ

<議題>**(1) 戦略 1 : 経営改革と経営基盤の強化について**

- ・ 事務局より、資料 1 に基づき、説明。

○主な質疑**【野田委員】**

- ・ 昨年も色々なデジタル化に取り組む中で補助金を利用させていただいておりますが、設備導入する際に、設備価格がまだ仕様決めの段階で決まってないということがあり、価格が決まってないと申請できないのか、先に申請だけ進めて、価格が確定すれば後追いで申請すればいいのか補助金によって違うのかもかもしれませんが、教えてください。

【事務局】

- ・ 補助金のメニューによって異なりますが、デジタル化支援補助金の場合は、まず見積書をもってご申請いただきます。
- ・ その後、変更があった場合は、変更申請という形で金額の変更等もしていただければ、予算の範囲内ではございますが、対応させていただきます。

【坪井委員】

- ・ 13 : 中小企業デジタル化支援補助金については、作った制度を十分にお使いいただいたということで、まだまだ期待は大きいと思います。ただ、せっかく作られても周知がされてないと意味がないので、金融機関等を通していろいろ PR していただければ良い結果が出るのではないかと期待をしております。
- ・ 9 : 中小企業環境保全対策設備等導入補助金については、昨年、商工会議所から市に要望させていただき、予算執行率 100% ということで、それだけニーズが多かったのかなと思います。
- ・ 工場を進出した時には、そこまで環境に心配する必要もなかったのが、宅地化により、工場の音など近隣の方々は非常にそういったものに注意をしておられるので、誤解を招かないためにも、これからも使わせていただきたいなというふうに考えておりますのでよろしくお願ひします。

【石川委員】

- ・ 2 点確認だけさせていただきたいと思います。
- ・ 1 点目は、13 : 中小企業デジタル化支援補助金について、非常に反響が大きかった一方、昨年途中で予算切れてしまったということで、限度額を下げたり予算規模を大きくしたということですが、一番大事

なのがそのあとのフォローアップが大事だと思います。昨年のフォローアップをどのような体制でやっているか教えてください。

- ・ 2点目は、先ほど坪井理事からお話のあった、より多くの方に周知していかなければ補助金のご活用いただけないという点について、どのようなアプローチをしているか教えてください。

【事務局】

- ・ 1点目のフォローアップにつきましては、昨年度は3ヶ月で14件の方への補助で終了してしまったため、新産業振興センターを通じて、昨年度にお問い合わせをいただいた事業所に対して、今年度、4,800万の予算を確保し、同補助金があるということを個別にご案内、周知をさせていただきました。
- ・ また、直前でご活用いただけなかった事業所には、個別で訪問させていただき、先月ご申請をいただいたという事例もございます。
- ・ ただ、中には導入が遅れ、気分を害されたケースもあったと聞いております。今後、このような形でご迷惑をおかけすることがないように、改善策の一つとして、市ホームページで各補助金の執行率を公開することとし、毎月更新を行い、事業所のみならず、中小企業を支援する側であります新産業振興センターや商工会議所とも共有し、適切なご案内に努めているところであります。
- ・ 2点目の制度の周知につきましては、金融機関様を中心とした補助金の説明会を4月に開催し、ご案内させていただいております。
- ・ また、企業立地・次世代産業推進課や商工振興課が、企業訪問時に事業所とお話をする中で、例えば販路開拓やデジタル化についてご興味がある場合は、当該補助金のあらましをお渡しし、個別に説明させていただいております。
- ・ その他、企業支援ガイドブックという補助メニューをまとめたガイドブックも作成しており、訪問時や金融機関様に配布させていただく中で周知を図っているというところでございます。
- ・ 最後に、事業者向けのメールマガジンも運用しており、セミナーや補助金の情報について、定期的に発信させていただいております。
- ・ 現在、約300件の事業者の方にご登録いただいております。登録者数を増やす努力をさせていただく中で、補助メニューについての周知も徹底して参りたいというふうに考えているところです。

【金田センター長】

- ・ デジタル化支援補助金については、私も事業所に回らせていただきましたが、可能な限り効果を測れる定量的な数字を出してもらうようお願いをしております。
- ・ また、周知については、振興センターのPRも足りないところがあり、メールマガジンやホームページで行ったり、6月にはデジタル化補助

金のセミナーを開催しました。

- ・ 定員を20名程度で想定しておりましたが、約40名の方にご参加いただき、うち7社がセンターとして新規事業所だったため、同補助金に対する期待は大きいのかなと思っております。

【清水会長】

- ・ DX化については、最近、色々な中小企業の方からどのようにDXに取り組めば良いか講演をして欲しい、誰か紹介して欲しいという問い合わせがきています。
- ・ これからますますニーズが高まっていく可能性もありますので、ぜひよろしく願いいたします。

(2) 戦略2：産業集積の強化について

- ・ 事務局より、資料1に基づき、説明。

○主な質疑

【坪井委員】

- ・ 今、ご説明いただいた補助金は、製造業を呼び込むための施策だと思いますが、実際小牧市を見ると倉庫が多く、物流業者にはこういった補助金はないと思います。
- ・ また、私見ですが、小牧市のにぎわいという点を考えると、飲食店や商店も少しずつ減っているイメージがあり、もう少し何か幅広く考えていただけると良いかなと思います。

【事務局】

- ・ 物流企業様やものづくり企業様の立地の観点でお答えさせていただきます。小牧市は高速道路の利便性に優れており、また、道路のインフラが良いという面もあることから、物流企業様には大変人気の高いエリアとなっているというのは、全国的にも有名で、市の支援策がない状態でも比較的立地しやすい状況にあります。そのため、ものづくり企業様も立地しやすい環境となるよう支援をさせていただいております。

【石川委員】

- ・ 14：企業立地促進補助金については、今年度は資料にあるとおり2件、予算執行率68.3%で終了ということでしょうか。

【事務局】

- ・ こちらの補助金につきましては、固定資産の評価額が補助対象経費になっておりますが、補助金の認定申請を頂いた段階では新增設される工場等の固定資産の評価額が分からない為、会社様の設備投資予定額をベースに概算で予算を計上しております。
- ・ その後、評価額が確定してから交付申請を頂くことから、どうしても

毎年度予算額の方が少し多いといった状況が続きますので、年度内に補正予算で減額し、予算を調整させていただいております。

【石川委員】

- ・ 20：航空機部品製造認証取得支援補助金について、21：航空宇宙産業認証費補助金に統合されたということでしたが、今年度はこの予算額ぐらいは申請がある見込みということでしょうか。

【事務局】

- ・ 今年度は予算額 400 万となりますが、内訳としては認証取得として1件の限度額 150 万円と、認証の更新費用 250 万となります。
- ・ 認証の更新費用については、令和3年度から5年度までの間にコロナ禍の経済対策として支援を行っていた実績があり、企業様の大体の金額がわかることから、そこから積算をしている状況になっています。

(3) 戦略3：企業チャレンジ支援について

- ・ 事務局より、資料1に基づき、説明。

○主な質疑

【坪井委員】

- ・ コロナが基本的には終わったというような認識をされていると思いますが、ゼロゼロ融資の返済などがある中、事業を継続することが難しいという事例が多々ありますので、コロナが基本的にはまだ、尾を引いてるという認識はお持ちいただけるとありがたいと思います。
- ・ また、創業ということでは、東春信用金庫様が創業塾などを開催し、少しでも起業していただくように力添えをしていますが、やはり基盤やベースがまだしっかりしていないので、そういったところに手厚い補助やご配慮いただけるとありがたいと思います。

【事務局】

- ・ 8月には創業支援セミナーを開催させていただきますが、そこで東春信用金庫様の創業塾につきましてもご案内させていただきたいと思っております。
- ・ また、こういった皆様からのお声を聞く中で補助メニューについても柔軟に対応して参りたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

【事務局】

- ・ ゼロゼロ融資の返済に伴い、借り換えも比較的多くあり、借りたのは良いけれども返せなくっているという事例も見受けられますので、セーフティネットを含む金融施策については、引き続き、周知して参りたいと思います。

(4) 戦略 4 : 小牧で働く人材支援について

- ・ 事務局より、資料 1 に基づき、説明。

○主な質疑**【野田委員】**

- ・ 27 : 人材育成研修費補助金について、研修施設を限定されている理由はなぜでしょうか。

【事務局】

- ・ 現状は、研修施設を限定する中で、運用をしているところです。
- ・ 補助金の目的としましては、人材育成としていることから、先ほどからお話がありますとおり DX 化・省力化といったニーズも高まっており、様々な研修が展開されており、参加したいというお声も聞いております。
- ・ そのため、今後は、実態を踏まえ、対象とする研修制度の内容も充実を図って参りたいと考えております。

【野田委員】

- ・ ありがとうございます。
- ・ 次世代経営者研修など長期にわたる研修等もやはり幹部を育てる上で必要ですので、是非ともご検討いただきたいと思います。よろしくをお願いします。

【坪井委員】

- ・ 中部産業連盟や愛知県経営者協会などの機関が一般的には多いと思いますので、そういったところも含めていただけると良いと思います。
- ・ また、DX 関連ですと、eラーニングを含めることもご検討をいただきたいと思います。
- ・ 次に求人との関係で、スクナビなどは逆求人型で、学生サイドとしては非常に面白いと思いますが、企業サイドとしては学生さんを探すのが大変だという点もあります。また、小牧市は製造業が多い中で、事務系の学生さんが多いため、逆求人型に限らずもう少し範囲を広げていただくことをご検討いただけると良いかと思います。

【清水会長】

- ・ うちのゼミ生から見ると 15 名のうち 6 名 (辞退者 1 名含む) がスクナビで決まったと聞いております。
- ・ また、理系はもともと定員数が少なく難しい部分がございます。

【事務局】

- ・ 研修機関につきましては、こういったメニューのセミナー、研修があるかを確認させていただきながら対応させていただければと思います。

す。

- ・ また、eラーニングにつきましてはこれまで対象としていないメニューですので、こちらも引き続き検討をして参りたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

【金田センター長】

- ・ 29：副業・兼業人材活用支援補助金については、一流企業の非常に有能な方がおり、価格もリーズナブルで良いと思っております。機密保持などについては、心配な部分ではありますが、私としても一度こういうのをお試しで使っていきたいと思っております。

【事務局】

- ・ 人材確保支援補助金については、制度を作る前に大手の求人サイトも対象にするか検討しましたが、各企業の経営の中で、人材確保の費用がかなり経常費化されていたため、逆求人型に限らせていただきました。
- ・ また、中小企業の方とお話する中では、大卒理系の方はかなりの売り手市場になっており厳しいことから、文系の方を採用して、社内ですっかりと教育することで働いていただいていると聞いております。

【事務局】

- ・ 先ほど野田委員からご質問のありました次世代産業関係の人材育成の研修費につきましては、23：次世代産業人材育成研修費補助金がございます。
- ・ 27：人材育成研修費補助金との違いとしては、研修の受講先の要件はなく、ものづくり関係の会社様で、次世代産業分野に関する研修でしたら、補助の対象となる制度で、令和5年度から開始しております。まだ開始して2年目ということで、周知が行き届いてない面もあるかと思いますが、こういった補助制度も利用していただければと考えております。

【金田センター長】

- ・ 私が中小企業を回る中で感じた問題点は、価格転嫁と人手不足で、小牧工科高校は、定員も減っている厳しい状況の中で1名に対し20社ぐらい話がくると聞きます。
- ・ また、第2新卒の方などにも目をつけて、諦めずにやっていきたいという声もありますので、我々も支援をしていきたいと思っております。

(5) その他について

- ・ 事務局より、資料1・2に基づき、説明。

<閉会>